



ホームページURL : <https://www.yachiyo.ed.jp/eyachinisi/>

今年度のESDの重点目標（取り組み）

構成概念	I 多様性（いろいろある）、	II 相互性（関わり合っている）
	IV 公平性（一人一人大切に）	
能力・態度	2. 未来像を予測して計画立てる力	4. コミュニケーションを行う力
	5. 他者と協力する力	7. 進んで参加する態度

【令和5年度 ESD 実践報告】

絆プロジェクト - 踏み出そう小さな1歩 - 総合的な学習の時間

①課題設定・情報収集

世界の難民の現状をDVDを見たり、「服のチカラ」の出張授業を聞いたりして知ることができた。また、難民の方の気持ちを理解するため「いのちの持ち物検査」も実施した。その後、自分たちにできることはなにかを考え、たくさんの意見の中から「募金活動」「服のチカラプロジェクト」「エコキャップ回収」の3つの活動を行うことにした。



「難民について調べ学習」



「いのちの持ち物検査」青色：お金で買えるもの。黄色：自分をつくっているもの。赤色：お金で買えないもの に分ける。



②整理分析・表現

近隣の保育園、小学校、中学校、高齢者施設に協力してもらうことができるよう、宣伝の仕方、回収方法など、その施設に適した方法を話し合い、協力して準備を進めた（例：パワーポイント、ペープサートチラシの作成など）。また、実際に宣伝に行く前に、保護者や6年生にも見てもらい助言をもらうなど、よりわかりやすく伝えることができるよう工夫をした。

さらに、児童のアイデアで「西小秋まつり」にて、5年生から手作りゲームコーナーを出店して売上金を全額募金することにした。



「保育園で行う人形劇練習」



「タブレットでチラシ作り」



「秋まつりの様子」



③まとめ

様々な活動・経験を生かして「他人事」ではなく「自分事」として主体的に活動している。単元継続中のため、1月に回収・梱包と2月に発送・学習の振り返りを行う。